

水稻中生有望系統 ‘媛育84号’

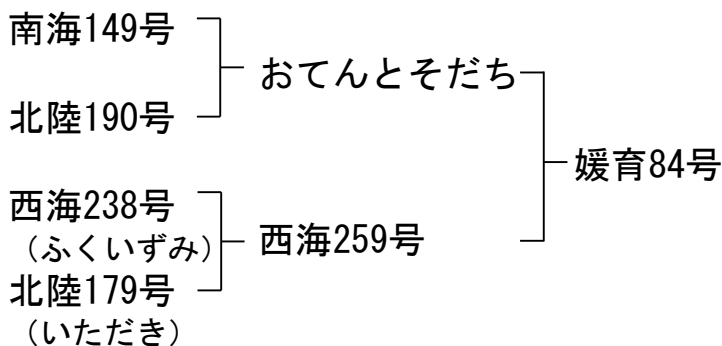
農林水産研究所

‘媛育84号’（おてんとそだち×西海259号）は、愛媛県農林水産研究所で育成した高温登熟条件下でも品質のよい中生のうるち系統です。

‘ヒノヒカリ’に比べ、出穂期および成熟期は同じくらいで、稈長が短く耐倒伏性はやや強、収量性は高いです。玄米の外観品質は良好です。炊飯米の食味は‘ヒノヒカリ’並みに良好です。

ヒノヒカリと比べると

- 出穂期・成熟期は同程度
- 短稈で倒伏しにくい
- 収量性は高い
- 外観品質は良好



‘媛育84号’の草姿



玄米(左‘媛育84号’、右‘ヒノヒカリ’)

生育・収量及び品質(2017~2020年)

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	精玄米重	収量	千粒重	整粒歩合	玄米タンパク	外観品質	検査等級	食味総合
	月/日	月/日	cm	cm	本/m ²	0-5	kg/a	%	g	%	%	1-9	等級	
媛育84号	8/22	10/1	69	20.7	305.3	0.0	56.6	109	22.2	73.2	6.6	2.8	1.1	-0.23
ヒノヒカリ	8/24	10/2	82	20.2	322.5	0.1	52.0	100	21.9	76.1	6.6	4.1	1.1	—

※定植日:6月15日 栽植密度:15.2株/m²

※外観品質:上上(1)~下下(9)の9段階評価 玄米タンパク質:静岡製機TM-3500で測定(14.5%水分換算)

※食味総合の基準品種は‘ヒノヒカリ’